

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-004 改 01
提出年月日	2023 年 4 月 21 日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

蒸気タービン

(本文)

2023 年 4 月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

蒸気タービン

1. 蒸気タービン本体
 - (2) 車室, 円板, 隔板, 噴口, 翼, 車軸及び管
 - (3) 調速装置及び非常調速装置の種類並びに調速装置で制御される主要弁
 - (4) 復水器
 - イ 種類, 冷却水温度等
 - ロ 空気抽出器, 復水ポンプ及び冷却水ポンプ
2. 蒸気タービンの附属設備
 - (2) 熱交換器 (湿分分離器を含む。)
 - イ 種類, 容量等
 - ・湿分分離器
 - (4) 管等
 - イ 主配管
 - ・補助蒸気系
 - ・抽気系
 - ・タービングランド蒸気系
 - ・抽出空気系
 - ・復水系
 - ・タービンヒータドレン系
 - ハ 安全弁及び逃がし弁
3. 蒸気タービンの基本設計方針, 適用基準及び適用規格
4. 蒸気タービンに係る工事の方法

蒸気タービンに係るものについては、次の事項

1. 蒸気タービン本体に係る次の事項

(2) 車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸の主要寸法及び材料並びに管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
蒸気タービン 本体	蒸気加減弁 ～ 高压タービン	6.88*2	286	609.6	□*3(30.9*1)	SB49	変更なし							
				609.6*3	□*3(30.9*1, *3)	SCPH2*3								
	高压タービン ～ A, B-第5給水加熱器入 口ライン分岐部*4	1.77*2	209	1066.8	□*3(15.9*1)	SB46相当		変更なし						
				1095.0	□*3(30.0*1)	SB46相当								
				664.2	□*3(40.0*1)	SFVAF11A								
	A, B-第5給水加熱器入 口ライン分岐部 ～ 湿分分離器*4	1.77*2	209	1095.0	□*3(30.0*1)	SB46相当		変更なし						
				1066.8	□*3(15.9*1)	SB46相当								
				1066.8	□*3(23.8*1)	SB46相当								
				1371.6	□*3(23.8*1)	SB46相当								
	湿分分離器 ～ 弁RV241-1A, B, C, D, E入口ライン分岐部*5	1.77*2	209	762.0	□*3(12.7*1)	SB46相当		変更なし						
				836.6	□*3(50.0*1)	SB46相当								
				664.2	□*3(40.0*1)	SFVAF11A								
	B-湿分分離器 ～ 弁V241-1入口ライン分 岐部*5	1.77*2	209	762.0	□*3(12.7*1)	SB46相当		変更なし						
				796.6	□*3(30.0*1)	SB46相当								
				664.2	□*3(40.0*1)	SFVAF11A								
弁V241-1入口ライン分 岐部 ～ 弁RV241-1F入口ライン 分岐部*5	1.77*2	209	796.6	□*3(30.0*1)	SB46相当	変更なし								
			762.0	□*3(12.7*1)	SB46相当									
			836.6	□*3(50.0*1)	SB46相当									

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
蒸気タービン本体	弁RV241-1A, B, C, D, E, F入口ライン分岐部 ～ 組合せ中間弁*5	1.77*2	209	836.6	□*3(50.0*1)	SB46相当	蒸気タービン本体	変更なし					
				762.0	□*3(12.7*1)	SB46相当							
	弁RV241-1A, B, C, D, E, F入口ライン分岐部 ～ 弁RV241-1A, B, C, D, E, F*6	1.77*2	209	555.6	□*3(50.0*1)	SFVAF11A		—*7					
				508.0	□*3(26.2*1)	SFVAF11A							
	弁V241-1入口ライン分岐部*8	1.77*2	209	347.9	□*3(25.0*1)	SFVAF11A		変更なし					
				318.5	□*3(10.3*1)	SFVAF11A							
	組合せ中間弁 ～ 低圧タービン	1.77*2	209	774.7	□*3(19.0*1)	SCMV3		変更なし					
	高圧タービン第4段抽気出口 ～ 弁AV241-1A, B*9	2.66*2	230	318.5	14.3*1	STPA23							
	A-第5給水加熱器入口 ライン分岐部 ～ 弁AV241-2A入口ライン 分岐部*10	1.77*2	209	347.9	□*3(25.0*1)	SFVAF11A		変更なし					
				318.5	□*3(10.3*1)	SFVAF11A							
				318.5	10.3*1	STPA23							
	弁AV241-2A入口ライン 分岐部 ～ 弁AV241-2A*10	1.77*2	209	406.4	12.7*1	STPA23		変更なし					

変更前						変更後							
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
蒸気タービン本体	B-第5給水加熱器入口 ライン分岐部 ～ 弁AV241-2B*10	1.77*2	209	347.9	□*3(25.0*1)	SFVAF11A	蒸気タービン本体	変更なし					
				318.5	□*3(10.3*1)	SFVAF11A							
				318.5	10.3*1	STPA23							
				406.4	12.7*1	STPA23							
	弁AV241-2A入口ライン 分岐部 ～ 弁MV231-2*11	1.77*2	209	216.3	8.2*1	STPA23							—*7
	低圧タービン第7段抽 気出口 ～ 弁AV241-3A, B*12	0.82*2	172	355.6	11.1*1	STPA23							変更なし
				448.0*13	2.5*1, *13×2 *13, *14	SUS316L*13							
				348.0*13	10.0*1, *13	SUS316L*13							
				355.6	□*3(11.1*1)	SCMV3							
				371.4	□*3(19.0*1)	SCMV3							
				558.8	□*3(9.5*1)	SCMV3							
				568.4	□*3(14.3*1)	SCMV3							
				406.4	12.7*1	STPA23							
				419.1	□*3(19.0*1)	SCMV3							
				406.4	□*3(12.7*1)	SCMV3							
	低圧タービン第8段抽 気出口 ～ 弁AV241-4A, B*15	0.45*2	149	457.2	□*3(9.5*1)	SCMV3							変更なし
				550.0*13	2.0*1, *13×2 *13, *14	SUS316L*13							
				450.0*13	10.0*1, *13	SUS316L*13							
				466.8	□*3(14.3*1)	SCMV3							
				762.0	□*3(9.5*1)	SCMV3							
				771.6	□*3(14.3*1)	SCMV3							
				568.4	□*3(14.3*1)	SCMV3							
				558.8	□*3(9.5*1)	SCMV3							

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：S I 単位に換算したものである。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和61年1月8日付け60資庁第11424号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-6 蒸気タービン管の強度計算書」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンから湿分分離器まで」「同上レギュレーサ」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離器から組合せ中間弁まで」と記載

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離器から組合せ中間弁まで」の分岐点からクロスアラウンド管安全弁まで」と記載

*7：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離器から組合せ中間弁まで」の分岐点から抽気系との取合点まで」と記載

- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービン第4段抽気出口から第6給水加熱器の入口取合点まで」と記載
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「クロスアラウンド管」の分岐点から第5給水加熱器の入口取合点まで」「同上レギュレーサ」と記載
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「第2抽気管」の分岐点からタービングランド蒸気系との取合点まで」と記載
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービン第7段抽気出口から第4給水加熱器の入口取合点まで」「同上レギュレーサ」と記載
- *13 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *14 : 層数を示す。
- *15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービン第8段抽気出口から第3給水加熱器の入口取合点まで」「同上レギュレーサ」と記載

(3) 調速装置及び非常調速装置の種類並びに調速装置で制御される主要弁の種類、駆動方法及び個数

a. 主蒸気止め弁

		変更前*	変更後
名	称	主蒸気止め弁	変更なし
種	類	— 止め弁	
駆	動 方 法	— 油圧作動	
個	数	— 4	

注記*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

b. 蒸気加減弁

		変更前*	変更後
名	称	蒸気加減弁	変更なし
種	類	— 制御弁	
駆	動 方 法	— 油圧作動	
個	数	— 4	

注記*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

c. 組合せ中間弁

		変更前*	変更後
名	称	組合せ中間弁	変更なし
種	類	— 制御弁・止め弁	
駆	動 方 法	— 油圧作動	
個	数	— 6	

注記*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(4) 復水器に係る次の事項

イ 種類, 冷却水温度, 冷気面積及び材料

			変更前	変更後
名 称			復水器	変更なし
種 類	—		表面接触単流 3 区分式	
冷却水温度 (入口) *1	℃		20	
冷 気 面 積	m ²		<input type="text"/> *2	
材 料	洞	—	SM41A 相当 (SMA41AP)	
	水 室	—	SS41	
	管 板	—	C4621P	
	復水器細管	—	C6871T 及び C6872T	

注記*1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却水標準温度」と記載

*2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載

ロ 空気抽出器, 復水ポンプ及び冷却水ポンプの種類, 容量及び個数

			変更前	変更後
名 称			復水ポンプ	変更なし
種 類	—		ターボ形	
容 量	m ³ /h		2720	
個 数	—		3	

2. 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(2) 熱交換器（湿分離器を含む。）に係る次の事項

イ 種類，容量又は発生蒸気量，入口及び出口の温度，最高使用圧力（一次側及び二次側の別に記載すること。），最高使用温度（一次側及び二次側の別に記載すること。），主要寸法，材料並びに個数

			変更前	変更後
名	称		湿分離器	
種	類	—	円筒吊下形	
容	量 ^{*1}	%/台	50	
温 度	入 口 ^{*1}	℃	196	
	出 口 ^{*1}	℃	195	
最 高 使 用 圧 力	一 次 側	MPa	1.77 ^{*2}	
	二 次 側	MPa	— ^{*3}	
最 高 使 用 温 度	一 次 側	℃	209	
	二 次 側	℃	— ^{*3}	
主 要 寸 法	胴 内 径		mm	3200 ^{*4}
	胴 板 厚 さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (32.0 ^{*4})
	鏡 板 厚 さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (38.0 ^{*1, 4})
	鏡板の形状に係る寸法 ^{*5}		mm	3200 ^{*6} , 800 ^{*7}
	管台外径（蒸気入口） ^{*1}		mm	1388 ^{*4}
	管台厚さ（蒸気入口）		mm	<input type="text"/> ^{*5} (32.0 ^{*1, 4})
	管台外径（蒸気出口） ^{*1}		mm	810 ^{*4}
	管台厚さ（蒸気出口）		mm	<input type="text"/> ^{*5} (40.0 ^{*1, 4})
	管台外径（ドレン出口） ^{*1}		mm	1296 ^{*4}
	管台厚さ（ドレン出口）		mm	<input type="text"/> ^{*5} (32.0 ^{*1, 4})
	胴体マンホール外径 ^{*1}		mm	800 ^{*4}
	胴体マンホール厚さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (144.0 ^{*1, 4})
	鏡板マンホール外径 ^{*1}		mm	954 ^{*4}
	鏡板マンホール厚さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (173.0 ^{*1, 4})
	胴体マンホール平板厚さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (75.0 ^{*1, 4})
	鏡板マンホール平板厚さ		mm	<input type="text"/> ^{*5} (90.0 ^{*1, 4})

変更なし

				変更前	変更後	
主要寸法	ドレンタンク	胴内径*1		mm	1232*4	変更なし
		胴板厚		mm	□*5(16.0*1, 4)	
		鏡板厚		mm	□*5(16.0*1, 4)	
		鏡板の形状に係る寸法*5		mm	1232*6, 308*7	
		管台外径(ドレン出口)*1		mm	318.5*4	
		管台厚さ(ドレン出口)		mm	□*5(10.3*1, 4)	
	全長		mm	12320*4		
材	胴板		—	SCMV3	変更なし	
	鏡板		—	SCMV3		
	胴体マンホール平板*1		—	SCMV3		
	鏡板マンホール平板*1		—	SCMV3		
	料	ドレンタンク	胴板*1	—		SCMV3
鏡板*1			—	SCMV3		
個	数		—	2		

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：S I 単位に換算したものである。

*3：加熱機能をもたない波板式の湿分分離器であるため二次側はない。

*4：公称値を示す。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 61 年 1 月 8 日 付け 60 資庁第 11424 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-7 湿分分離器の強度計算書」による。

*6：公称値であり、鏡板の内面における長径を示す。

*7：公称値であり、鏡板の内面における短径の 2 分の 1 を示す。

(4) 管等に係る次の事項

- イ 主配管の最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料
補助蒸気系の管

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
補助 蒸気 系	弁RV248-1 ～ C-復水器*2	1.18*3	191	216.3	8.2	STPT42	補助 蒸気 系						—*4

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気抽出器入口への安全弁から復水器まで」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：当該ラインについては，主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

抽気系
常設

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
抽気系	弁V241-1入口ライン分岐部 ～ 弁V241-1*2	1.77*3	209	318.5	10.3*1	STPA23	抽気系	変 更 な し					
	弁RV241-1A, B, C, D, E, F ～ 復水器*4	0.88*3	179	508.0	□*5(9.5*1)	SB42		—*6					
	原子炉給水ポンプ駆動 用蒸気タービン ～ 復水器(排気ライン) *7	0.05*3	110	1524.0	□*5(16.0*1)	SCMV3		変 更 な し					
				1643.0*8	1.5*1, *8×1*8, *9	SUS316L*8							
	原子炉給水ポンプ駆動 用蒸気タービン ～ 復水器(車室ドレンラ イン)*10	0.35*3	149	165.2	7.1*1	STPA23		—*6					
				216.3	8.2*1	STPA23							
	弁RV241-10A, B ～ A-復水器*11	1.33*3	230	165.2	7.1*1	STPT42		—*6					
				267.4	□*5(9.3*1)	SF45A							
				281.6	□*5(16.4*1)	SF45A							
				267.4	9.3*1	STPT42							
				165.2	□*5(7.1*1)	SF45A							
	弁RV241-11A, B ～ A-復水器*12	0.88*3	209	176.2	□*5(12.6*1)	SF45A		—*6					
				165.2	7.1*1	STPT42							
				216.3	8.2*1	STPT42							
				216.3	□*5(8.2*1)	SF45A							
				229.1	□*5(14.6*1)	SF45A							
				267.4	□*5(9.3*1)	SF45A							
		281.6	□*5(16.4*1)	SF45A									
		267.4	9.3*1	STPT42									

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
抽 気 系	弁RV241-12A, B ～ A-復水器*13	0.36*3	172	165.2	7.1*1	STPT42	抽 気 系	—*6					
				216.3	8.2*1	STPT42							
				406.4	12.7*1	STPT42							
				431.8	25.4*1	STPT42							
				216.3	□*5(8.2*1)	SF45A							
				229.1	□*5(14.6*1)	SF45A							
	弁RV241-13A, B ～ A-復水器*14	0.35*3	149	216.3	8.2*1	STPT42							
				267.4	9.3*1	STPT42							
				267.4	□*5(9.3*1)	SF45A							
				281.6	□*5(16.4*1)	SF45A							
				355.6	11.1*1	STPT42							
				381.0	23.8*1	STPT42							

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管」の取合点から原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの入口取合点まで」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「クロスアラウンド管安全弁から復水器まで」と記載

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和61年1月8日付け60資庁第11424号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-8-5 抽気系管の強度計算書」による。

*6：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの出口取合点から復水器まで（排気ライン）」と記載

*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*9：層数を示す。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの出口取合点から復水器まで（車室ドレンライン）」「同上レジャーサ」と記載

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第6給水加熱器入口への安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第5給水加熱器入口への安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第4給水加熱器入口への安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第3給水加熱器入口への安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

タービングランド蒸気系
常設

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
タービングランド蒸気系	弁CV231-1, 弁MV231-1 ～ 弁RV231-1C入口ライン 分岐部*2	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23	タービングランド蒸気系	—*4				
	弁RV231-1C入口ライン 分岐部 ～ 弁RV231-1B入口ライン 分岐部*2	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁RV231-1B入口ライン 分岐部 ～ 弁RV231-1A入口ライン 分岐部*2	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁RV231-1A入口ライン 分岐部 ～ 弁CV231-1, 弁MV231-1 出口ライン合流部*2	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁CV231-1, 弁MV231-1 出口ライン合流部 ～ グランド蒸気発生器*2	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁MV231-2 ～ 弁CV231-1, 弁MV231-1 出口ライン合流部*5	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁RV231-1C入口ライン 分岐部 ～ 弁RV231-1C*6	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				
	弁RV231-1B入口ライン 分岐部 ～ 弁RV231-1B*6	1.77*3	209	216.3	8.2	STPA23		—*4				

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
タービン グランド 蒸気系	弁RV231-1A入口ライン 分岐部 ～ 弁RV231-1A*6	1.77*3	209	216.3	8.2*1	STPA23	タービン グランド 蒸気系							
	弁RV231-1A, B, C ～ C-復水器*7	1.77*3	209	457.2	□*8(12.7*1)	SB42			—*4					
				469.8	□*8(19.0*1)	SB42								
				267.4	□*8(9.3*1)	SF45A								
				281.6	□*8(16.4*1)	SF45A								
	グランド蒸気発生器 ～ 弁RV231-2A, B*9	0.44*3	155	165.2	7.1*1	STPT42								
	弁RV231-2A, B ～ C-復水器*10	0.44*3	155	267.4	9.3*1	STPT42			—*4					
				267.4	□*8(9.3*1)	SF45A								
				281.6	□*8(16.4*1)	SF45A								
				355.6	11.1*1	STPT42								
	弁CV231-7 ～ C-復水器*11	0.88*3	209	216.3	10.3*1	STPA23								
	グランド蒸気発生器 ～ 弁MV231-8入口ライン分 岐部*12	0.44*3	155	216.3	8.2*1	STPT42			—*4					
				267.4	9.3*1	STPT42								
弁MV231-8入口ライン分 岐部 ～ 弁MV231-8出口ライン合 流部*12	0.44*3	155	267.4	9.3*1	STPT42									
	0.35*3	173	406.4	12.7*1	STPT42									
弁MV231-8出口ライン合 流部 ～ 弁MV231-101A, B入口ラ イン分岐部*12	0.35*3	173	406.4	12.7*1	STPT42									

変更前						変更後									
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料				
タービン グランド 蒸気系	弁 MV231-101A, B 入口 ライン分岐部 ～ 低圧タービン及び弁 RV231-100A, B*12	0.35*3	173	406.4	12.7	STPT42	タービン グランド 蒸気系	—*4							
				267.4	9.3	STPT42									
				216.3	8.2	STPT42									
				165.2	7.1	STPT42									
	弁 MV231-8 入口ライン 分岐部 ～ 弁 CV231-5, 弁 MV231- 10 出口ライン合流部*12	0.44*3	155	267.4	9.3	STPT42						—*4			
	弁 CV231-5, 弁 MV231- 10 出口ライン合流部 ～ 弁 MV231-8 出口ライン 合流部*12	0.35*3	173	406.4	12.7	STPT42						—*4			
	弁 CV231-5, 弁 MV231- 10 ～ 弁 CV231-5, 弁 MV231- 10 出口ライン合流部*13	0.35*3	173	406.4	12.7	STPT42						—*4			
	弁 MV231-101A, B 入口 ライン分岐部 ～ 弁 MV231-101A, B*14	0.35*3	173	216.3	8.2	STPT42						—*4			
				165.2	7.1	STPT42									
	弁 RV231-100A, B ～ A-復水器*15	0.35*3	173	267.4	9.3	STPT42						—*4			

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
タービン グランド蒸気系	高圧タービン ～ A-低圧タービン出口ライン合流部*16	0.02*3	150	216.3	8.2*1	STPT42	タービン グランド蒸気系	—*4				
	A-低圧タービン出口ライン合流部 ～ A, B-低圧タービン出口ライン合流部*16	0.02*3	150	267.4	9.3*1	STPT42		—*4				
	A, B-低圧タービン出口ライン合流部 ～ B, C-低圧タービン出口ライン合流部*16	0.02*3	150	406.4	12.7*1	STPT42		—*4				
				508.0	□*8(9.5*1)	SB42						
				517.6	□*8(14.3*1)	SB42						
	B, C-低圧タービン出口ライン合流部 ～ C-低圧タービン出口ライン合流部*16	0.02*3	150	517.6	□*8(14.3*1)	SB42		—*4				
				508.0	□*8(9.5*1)	SB42						
	C-低圧タービン出口ライン合流部 ～ 弁MV231-102A, B出口ライン合流部*16	0.02*3	150	508.0	□*8(9.5*1)	SB42		—*4				
	弁MV231-102A, B出口ライン合流部 ～ グランド蒸気復水器*16	0.02*3	150	508.0	□*8(9.5*1)	SB42		—*4				
	A-低圧タービン ～ A-低圧タービン出口ライン合流部*17	0.02*3	150	165.2	7.1*1	STPT42		—*4				
A, B-低圧タービン ～ A, B-低圧タービン出口ライン合流部*17	0.02*3	150	165.2	7.1*1	STPT42	—*4						
			267.4	9.3*1	STPT42							

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
タービン グランド蒸気系	B, C-低圧タービン ～ B, C-低圧タービン出 口ライン合流部*17	0.02*3	150	165.2	7.1*1	STPT42	タービン グランド蒸気系	—*4				
				267.4	9.3*1	STPT42						
				267.4	□*8(9.3*1)	SB42						
				277.4	□*8(14.3*1)	SB42						
	C-低圧タービン ～ C-低圧タービン出口ラ イン合流部*17	0.02*3	150	165.2	7.1*1	STPT42		—*4				
				165.2	□*8(7.1*1)	SF45A						
				176.2	□*8(12.6*1)	SF45A						
	弁MV231-102A, B ～ 弁MV231-102A, B出口 ライン合流部*18	0.02*3	150	165.2	7.1*1	STPT42		—*4				
				165.2	□*8(7.1*1)	SF45A						
				176.2	□*8(12.6*1)	SF45A						
	グランド蒸気復水器 ～ グランド蒸気排風機	0.02*3	90	267.4	9.3*1	STPT42		変更なし				
高圧タービン ～ A-復水器*20	0.35*3	173	165.2	7.1*1	STPA23	—*4						
			267.4	9.3*1	STPA23							
			355.6	11.1*1	STPA23							
高圧タービン ～ 弁MV231-107A, B*21	0.35*3	149	216.3	8.2*1	STPA23	—*4						
											弁MV231-103A, B ～ B, C-復水器*22	0.35*3
主蒸気止め弁 ～ A-復水器*23	0.35*3	173	165.2	7.1*1	STPA23	—*4						

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助蒸気系との取合点からグランド蒸気発生器まで」「同上レギュレーサ」と記載

*3：S I単位に換算したものである。

*4：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第2抽気管」の分岐点から「補助蒸気系との取合点からグランド蒸気発生器まで」の合流点まで」と記載

- *6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助蒸気系との取合点からグラント蒸気発生器まで」の分岐点からグラント蒸気発生器加熱蒸気管安全弁まで」と記載
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器加熱蒸気管安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載
- *8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 61 年 1 月 8 日付け 60 資庁第 11424 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-8-6 タービングラント蒸気系管の強度計算書」による。
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器からグラント蒸気発生器胴体安全弁まで」と記載
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器胴体安全弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器から低圧タービンまで」「同上レジャーサ」と記載
- *13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「所内蒸気系との取合点から「グラント蒸気発生器から低圧タービンまで」の合流点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気発生器から低圧タービンまで」の分岐点から原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの入口取合点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気管安全弁から復水器まで」と記載
- *16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンからグラント蒸気復水器まで」「同上レジャーサ」と記載
- *17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低圧タービンから「高圧タービンからグラント蒸気復水器まで」の合流点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの出口取合点から「高圧タービンからグラント蒸気復水器まで」の合流点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グラント蒸気排風機から気体廃棄物処理系との取合点まで」と記載
- *20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンから復水器まで」「同上レジャーサ」と記載
- *21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高圧タービンから第 3 給水加熱器の入口取合点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービンの出口取合点から復水器まで」と記載
- *23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気止め弁から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

抽出空気系
常設

変更前						変更後																																				
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料																															
抽出空気系	復水器 ～ 復水器真空ポンプ入口 ライン分岐部*2	0.05*3	60	267.4	9.3*1	STPT42	抽出空気系	変更なし																																		
				267.4	□*4(9.3*1)	SM41A																																				
				277.4	□*4(14.3*1)	SM41A																																				
				457.2	□*4(9.5*1)	SM41A																																				
				466.8	□*4(14.3*1)	SM41A																																				
	復水器真空ポンプ入口 ライン分岐部 ～ 復水器出口ライン合流 部*2	0.05*3	60	466.8	□*4(14.3*1)	SM41A							変更なし																													
				457.2	□*4(9.5*1)	SM41A																																				
				558.8	□*4(9.5*1)	SM41A																																				
				568.4	□*4(14.3*1)	SM41A																																				
	復水器 ～ 復水器出口ライン合流 部*2	0.05*3	60	267.4	9.3*1	STPT42													変更なし																							
				267.4	□*4(9.3*1)	SM41A																																				
				277.4	□*4(14.3*1)	SM41A																																				
				457.2	□*4(9.5*1)	SM41A																																				
	復水器出口ライン合流 部 ～ 空気抽出器（第1段） *2	0.05*3	60	466.8	□*4(14.3*1)	SM41A																			変更なし																	
				568.4	□*4(14.3*1)	SM41A																																				
	復水器真空ポンプ入口 ライン分岐部 ～ 復水器真空ポンプ*5	0.05*3	60	558.8	□*4(9.5*1)	SM41A																									___*6											
				328.9	□*4(15.5*1)	SM41A																																				
	復水器真空ポンプ ～ 弁V249-2*7	0.02*3	66	318.5	□*4(10.3*1)	SM41A																															___*6					
				318.5	10.3*1	STPT42																																				
				165.2	7.1*1	STPT42																																				
			406.4	9.5*1	STPT42																																					

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (MPa)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
抽出空気系	空気抽出器復水器 ～ 空気抽出器（第2段） *8	0.35	170	267.4	15.1*1	STPA23	抽出空気系	変更なし					
	空気抽出器（第2段） ～ 弁MV249-3A, B*9	0.35*3	170	267.4	9.3*1	STPT42		変更なし					
	復水器真空破壊管	0.05*3	60	457.2	□*4(9.5*1)	SM41A		—*6					

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水器から空気抽出器（第1段）まで」「同上レギュレーサ」と記載

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和61年1月8日付け60資庁第11424号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-8-7 抽気空気系管の強度計算書」による。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水器から空気抽出器（第1段）まで」の分岐点から復水器真空ポンプまで」と記載

*6：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水器真空ポンプから気体廃棄物処理系との取合点まで」と記載

*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「空気抽出器（第2段）から気体廃棄物処理系との取合点まで」と記載

復水系
常設

変更前						変更後																																									
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料																																				
復水系	復水器 ～ 復水ポンプ	0.35*2	60	609.6	□*3(9.5*1)	SM41A	復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6																																			
				619.2	□*3(14.3*1)	SM41A																																									
				1168.4	□*3(12.7*1)	SM41A																																									
				1181.0	□*3(19.0*1)	SM41A																																									
				782.0	□*3(22.7*1)	SM41A																																									
				762.0	□*3(12.7*1)	SM41A																																									
	復水ポンプ ～ 弁MV203-2入口ライン 分岐部*4	1.94*2	60	508.0	□*3(12.7*1)	SB42							復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6																												
				520.6	□*3(19.0*1)	SB42																																									
				711.2	□*3(17.4*1)	SB42																																									
				728.6	□*3(26.1*1)	SB42																																									
	弁MV203-2入口ライン 分岐部 ～ 弁MV203-1001A, B, C, D, E, F, G, H*4	1.94*2	60	728.6	□*3(26.1*1)	SB42														復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6																					
				711.2	□*3(17.4*1)	SB42																																									
				□	□*3(□*1)	SF45A																																									
				267.4	□*3(9.3*1)	SF45A																																									
				267.4	9.3*1	STPT42																																									
	弁MV203-2入口ライン 分岐部 ～ 弁MV203-2*5	1.94*2	60	469.8	□*3(19.0*1)	SB42																					復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6														
				457.2	□*3(12.7*1)	SB42																																									
	弁MV203-1502A, B, C, D, E, F, G, H ～ 弁MV203-1502A, B, C, D, E, F, G, H出口 ライン合流部*7	1.94*2	60	267.4	9.3*1	STPT42																												復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6							
				267.4	□*3(9.3*1)	SF45A																																									
				□	□*3(□*1)	SF45A																																									
				711.2	□*3(17.4*1)	SB42																																									
				728.6	□*3(26.1*1)	SB42																																									
	弁MV203-1502A, B, C, D, E, F, G, H出口 ライン合流部 ～ 空気抽出器復水器*7	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42																																			復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6
				457.2	□*3(12.7*1)	SB42																																									
弁MV203-3 ～ 弁MV203-1502A, B, C, D, E, F, G, H出口 ライン合流部*8	1.94*2	60	457.2	□*3(12.7*1)	SB42	復水系	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6	—*6																																			
			469.8	□*3(19.0*1)	SB42																																										

変更前						変更後						
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
復水系	空気抽出器復水器 ～ グラント蒸気復水器	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42	変更なし					
	グラント蒸気復水器 ～ 復水昇圧ポンプ入口ラ イン復水再循環分岐部 *9	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42	変更なし					
	復水昇圧ポンプ入口ラ イン復水再循環分岐部 ～ 復水昇圧ポンプ入口ラ イン復水器アテンペ レータスプレイ分岐部 *9	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42	変更なし					
	復水昇圧ポンプ入口ラ イン復水器アテンペ レータスプレイ分岐部 ～ 復水昇圧ポンプ入口ラ イン制御棒駆動水分岐 部*9	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42	変更なし					
	復水昇圧ポンプ入口ラ イン制御棒駆動水分岐 部 ～ 弁V203-3A, B, C*9	1.94*2	60	711.2	□*3(17.4*1)	SB42	変更なし					
				728.6	□*3(26.1*1)	SB42						
				558.8	□*3(15.9*1)	SB42						
				574.8	□*3(23.9*1)	SB42						
	復水昇圧ポンプ入口ラ イン復水再循環分岐部 ～ 弁V203-11A, B (復水再循環)*10	1.94*2	60	330.7	□*3(16.4*1)	SF45A	—*6					
				318.5	□*3(10.3*1)	SF45A						
318.5				10.3*1	STPT42							
216.3				8.2*1	STPT42							
弁V203-13A, B, C, D, E, F ～ 復水器(復水再循環) *10	1.94*2	60	165.2	7.1*1	STPT42	—*6						

変更前						変更後													
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料								
復水系	復水昇圧ポンプ入口ライン復水器アテンペレータスプレイ分岐部 ～ 復水器（復水器アテンペレータスプレイ）*11	1.94*2	60	176.2	□*3(12.6*1)	SF45A	復水系												
				165.2	□*3(7.1*1)	SF45A													
				165.2	7.1*1	STPT42													
	復水昇圧ポンプ入口ライン制御棒駆動水分岐部 ～ 弁V203-20*12	1.94*2	60	125.5	□(11.6*1)	SF45A													
				114.3	□(6.0*1)	SF45A													
				114.3	6.0*1	STPT42													
				76.3	5.2*1	STPT42													
	封水回収タンク ～ 封水回収タンク出口ライン合流部*13	静水頭	80	216.3	8.2*1	STPG38													
	封水回収タンク出口ライン合流部 ～ 封水回収ポンプ*13	静水頭	80	216.3	8.2*1	STPG38													
	封水回収ポンプ ～ 封水回収ポンプ出口ライン合流部*14	0.35*2	80	216.3	8.2*1	STPG38													
封水回収ポンプ出口ライン合流部 ～ C-復水器*14	0.35*2	80	216.3	8.2*1	STPG38														
封水回収タンク出口ライン合流部 ～ 封水回収ポンプ出口ライン合流部*15	静水頭	80	216.3	8.2*1	STPG38														
弁V203-30 ～ A-復水器*12	1.37*2	66	114.3	6.0*1	STPT42														

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：S I 単位に換算したものである。

- *3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和61年1月8日付け60資庁第11424号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-8-8 復水系管の強度計算書」による。
- *4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水ポンプから復水ろ過脱塩装置ろ過脱塩器の入口取合点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水ポンプから復水ろ過脱塩装置ろ過脱塩器の入口取合点まで」の分岐点から復水ろ過脱塩装置バイパス弁まで」と記載
- *6 : 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- *7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置脱塩器の出口取合点から空気抽出器復水器まで」と記載
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置バイパス弁から復水脱塩装置脱塩器の出口取合点から空気抽出器復水器まで」の合流点まで」と記載
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グランド蒸気復水器から復水昇圧ポンプの入口取合点まで」「同上レジャーサ」と記載
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グランド蒸気復水器から復水昇圧ポンプの入口取合点まで」の分岐点から復水器まで（復水再循環）」「同上レジャーサ」と記載
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「グランド蒸気復水器から復水昇圧ポンプの入口取合点まで」の分岐点から復水器まで（復水器アテンペレータスプレイ）」「同上レジャーサ」と記載
- *12 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「封水回収タンクから封水回収ポンプまで」と記載
- *14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「封水回収ポンプから復水器まで」と記載
- *15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「封水回収タンクから封水回収ポンプまで」の分岐点から「封水回収ポンプから復水器まで」の合流点まで」と記載

タービンヒータドレン系
常設

変更前						変更後									
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
タービン ヒータド レン系	弁CV244-7A, B ～ A-復水器*2	0.88*3	230	267.4	12.7*1	STPA23	タービン ヒータド レン系						—*4		
	弁CV244-8A, B ～ A-復水器*5	0.88*3	209	355.6	15.1*1	STPA23								—*4	
	弁CV244-9A, B ～ A-復水器*6	0.72*3	172	508.0	□*7(12.7*1)	SCMV3								—*4	
	弁CV244-11A, B, C ～ 復水器*8	0.35*3	149	457.2	□*7(12.7*1)	SCMV3									—*4
				469.8	□*7(19.0*1)	SCMV3									—*4
	弁CV244-6A, B, C ～ 復水器*9	0.35*3	149	508.0	□*7(12.7*1)	SCMV3									変更なし
				520.6	□*7(19.0*1)	SCMV3									変更なし
	弁CV244-12A, B, C ～ 復水器*9	0.35*3	149	508.0	□*7(12.7*1)	SCMV3									—*4
				520.6	□*7(19.0*1)	SCMV3									—*4
	A-湿分分離器 ～ A-湿分分離器ドレンラ イン分岐部*10	1.77*3	209	318.5	10.3*1	STPA23									変更なし
B-湿分分離器 ～ B-湿分分離器ドレンラ イン分岐部*10	1.77*3	209	318.5	10.3*1	STPA23								変更なし		

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
タービン ヒータ ドレン 系	A-湿分分離器ドレンラ イン分岐部 ～ A-復水器*11	1.77*3	209	318.5	10.3	STPA23	タービン ヒータ ドレン 系							
	B-湿分分離器ドレンラ イン分岐部 ～ A-復水器*11	1.77*3	209	318.5	10.3	STPA23								
		0.88*3	209	355.6	15.1	STPA23								

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第6給水加熱器の出口取合点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*3：S I単位に換算したものである。

*4：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第5給水加熱器の出口取合点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第4給水加熱器の出口取合点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*7：既工事計算書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和61年1月8日付け60資庁第11424号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-8-9 タービンヒータドレン系管の強度計算書による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第2給水加熱器の出口取合点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1給水加熱器の出口取合点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「湿分分離器から第4給水加熱器の入口取合点まで」と記載

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「「湿分分離器から第4給水加熱器の入口取合点まで」の分岐点から復水器まで」「同上レジャーサ」と記載

ハ 安全弁及び逃がし弁の種類, 吹出圧力, 吹出量, 個数及び取付箇所

			変更前*1	変更後
名称			RV241-10A, B	変更なし
種類	—	平衡型		
吹出圧力	MPa	2.66		
吹出量	kg/h/個	<input type="text"/> *2		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	RV241-10A, B (抽気系)	
	設置床	—	タービン建物 EL 12500mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*2: 公称値を示す。

		変更前*1	変更後	
名称		RV241-11A, B	変更なし	
種類	—	平衡型		
吹出圧力	MPa	1.77		
吹出量	kg/h/個	<input type="text"/> *2		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		RV241-11A, B (抽気系)
	設置床	—		タービン建物 EL 9000mm
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

		変更前*1	変更後	
名称		RV241-12A, B	変更なし	
種類	—	平衡型		
吹出圧力	MPa	0.72		
吹出量	kg/h/個	□*2		
個数	—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		RV241-12A, B (抽気系)
	設置床	—		タービン建物 EL 9000mm
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

			変更前*1	変更後
名称			RV241-13A, B	変更なし
種類	類	—	平衡型	
吹出圧力		MPa	0.35	
吹出量		kg/h/個	<input type="text"/> *2	
個数		—	2	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	RV241-13A, B (抽気系)	
	設置床	—	タービン建物 EL 9000mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。